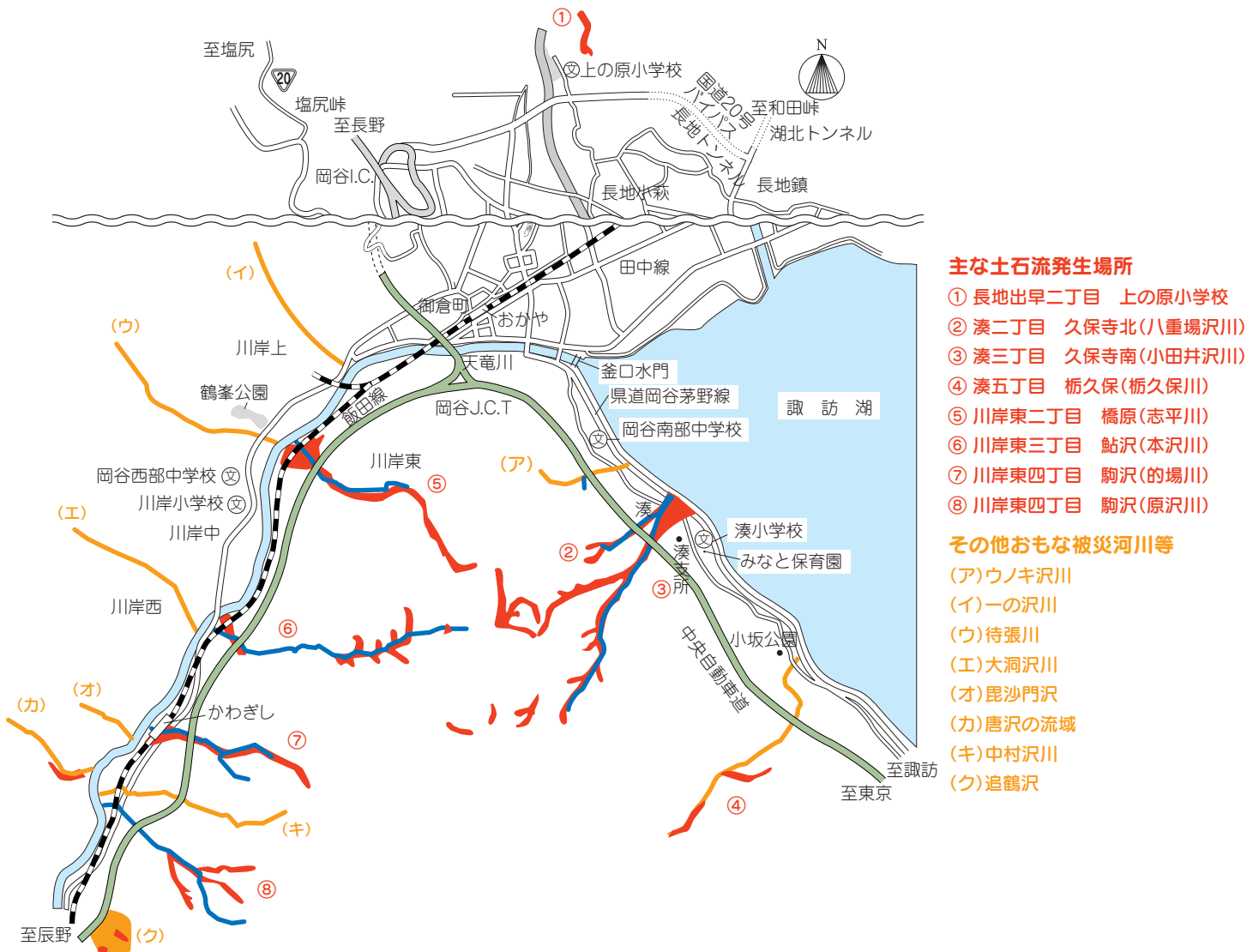


# 平成18年7月豪雨

# 主な土石流等災害発生箇所



## 土石流危険地域の雨量による避難体制について

平成18年7月豪雨により発生した土石流について、今後の降雨などの状況によっては、再度土石流が発生する可能性があるため住民の円滑な避難が行えるように雨量の基準を定め、基準雨量を考慮の上、避難準備、避難勧告を発令し地域住民の安全確保を図りたいと考えました。なお、8月12、13日の降雨により基準雨量を見直しました。

※1 避難準備基準：避難準備を行う基準

※2 避難基準：避難を始める基準

避難準備基準※ <sup>1</sup>	従来	新基準
時間雨量	10mmを超える予想	20mmが予想される時、もしくはあった時
連続雨量	30mmを超えたとき	45mmが予想される時、もしくはあった時
避難基準※ <sup>2</sup>	従来	新基準
時間雨量	10mmを超えたとき	30mmが予想される時、もしくはあった時
連続雨量	40mmを超えたとき	55mmが予想される時、もしくはあった時

\*8月13日最高雨量 時間雨量50mm 連続雨量 55mm

対象地区：栃久保川、小田井沢川、八重場沢川、ウノキ沢川、志平川、本沢川、的場川、中村沢川、原沢川、追鶴沢、一の沢川、待張川、毘沙門沢、唐沢の流域、洗心荘および上の原小学校

なお、避難基準の運用については、上記雨量基準のほか、各河川の状況等も勘案する中で、地元区と協議の上、実施していきます。

# 土砂災害にはこんな前兆現象があります！

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

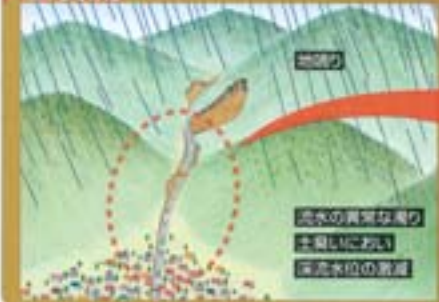
## がけ崩れ



## がけ崩れ発生



## 土石流



## 土石流発生



## 地すべり



## 地すべり発生



※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

もしもの  
時のための  
日頃の  
備え



危険箇所図は最寄りの土木事務所、市町村役場等で見ることができます。日頃からどこが危険か、避難場所はどこか、確認しておきましょう。



避難する道に危険な場所がないか、日頃から調べておきましょう。

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上になったら要注意！気象情報などに気を配りましょう。



※砂防広報センターの了承を得て複製しました